

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年8月27日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから8月27日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 それでは、報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして、説明をさせていただきます。

まず、来週の原子力規制委員会ですけれども、定例会は予定どおりで、午後に四国電力経営層との意見交換を予定しております。

次、2. 審査会合、会見などについてということですが、1ページ目のものは既に説明をしたとおりでありまして、2ページ目、8月31日、第412回核燃料施設等の審査会合です。

こちらは、京都大学臨界実験装置の承認申請について、これは今回17回目ということですが、設計基準事項の評価についてコメントを出す回ということのようです。

次、(4) 特定兼用キャスクの審査会合です。

こちらは、日立GEからの申請についての審査ということで、前回7月13日に出た耐震性についてのコメントへの回答ということになります。

もう一つ、今年の3月にGNSというドイツの企業から申請があったそうで、そちらについては初めての会合ということになります。

次に、9月2日、第999回審査会合。

こちらは特重なので非公開ということになります。柏崎刈羽の特重について、基礎地盤と周辺斜面の安定性が議題になりまして、それが議題になるのは今回が初めてということで、概要の説明というところから始まる予定です。

3ページ目に参りまして、9月3日金曜日、標準応答スペクトルの許可申請の可否に係る会合ということで、議題は2つありまして、女川は7月2日の続きということになります。

議題2、JAEAのJRR-3、これは初会合ということになります。

次、(9) 第1000回審査会合ということで、こちらは泊の津波評価についてということで、5月の会合で出たコメントへの回答ということになります。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—